

体に響け

東栄町を拠点に活動する和太鼓集団「志多ら」が、8、9日の豊橋公演を皮切りに、全国ツアー「息吹」を始める。奥三河に根を下ろして間もなく30年。「次の時代に向け、新たな命の鼓動を発信しよう」と来年9月まで、東京や名古屋、大阪を含む20都市で公演する。(鈴木泰彦)

和太鼓集団

東栄の「志多ら」



全国ツアー「息吹」を控え、練習に打ち込む志多らのメンバー＝東栄町の旧東園目小で

あすから20都市ツアー

小牧市で誕生した志多らが、東栄町東園目(あづまの)に拠点を移したのは一九九〇年三月。周囲への騒音を気にせず、太鼓に打ち込める環境を求めた。地域で暮らしながら、旧東園目小の廃校舎で活動。全国ツアーは今回で七回目になる。

ツアーを仕切るのは、三代目の舞台リーダーに就任したばかりの吉田章彦さん(三三)＝岐阜県垂井町出身。「三十周年を控え、先輩たちが培ってきた伝統に、さらに磨きをかけたい」と意気込む。四人の新人にとっては、今回が初舞台。一年間、研修生として共同生活をしながら、厳しい練習に耐えてきた。田中利奈さん(二七)＝武豊町出身は「太鼓を通して観客にエネルギーを送り、笑顔になっただければ」と話す。

志多らのメンバーは現在十九人。演奏活動の傍ら、伝統芸能「花祭り」の支援など、地域に根差した活動が続けてきた。家庭を持った人も多く、子どもの数は計八人。過疎高齢化が進む町にとっては心強い存在だ。

総合統括プロデューサーの大脇聡さん(四三)＝岐阜県瑞浪市出身は「今年初めて地元出身者が一人、メンバーに加わった。力を合わせてツアーを成功させ、次のステップに進みたい」と語った。

全国ツアーのスタートは穂の国とよはし芸術劇場プラット。この後、十五日に岐阜県瑞浪市総合文化センター、八月十一日瀬戸市文化センター、九月十七日岐阜県大垣市サイトピアセンターと続く。◎志多ら事務局＝

0536(76) 1708